

専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
研究指導計画

時期	内容
4月	[1年制・2年制1年生] プロジェクト担当教員紹介 (プロジェクト：研究と同義) [1年制] プロジェクトガイダンス [1年制] オープンドア開始 (オープンドア：主査決定のための個別面談) [1年制] プレゼンテーション
5月	[1年制] 合同オープンドア [1年制] 主査投票 [1年制] 主査発表 (以降個別指導)
6月	
7月	[1年制・2年制2年生] 第1回中間発表会 (プレゼンテーション) [2年制1年生] プロジェクトガイダンス
8月	
9月	
10月	
11月	[1年制・2年制2年生] 第2回中間発表会 (プレゼンテーション、ポスターセッション) [2年制1年生] アブストラクト提出
12月	[2年制1年生] オープンドア開始
1月	[2年制1年生] 主査投票 [2年制1年生] 主査発表 (以降個別指導)
2月	[1年制・2年制2年生] プロジェクト報告書提出 [1年制・2年制2年生] 最終審査会 [1年制・2年制2年生] 優秀プロジェクト発表会
3月	

詳細は、入学時に「プロジェクト報告書ガイドライン」で提示する。

専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
学位審査基準

区 分	ビジネスプラン型	特定ビジネス課題解決型
プロジェクトタイプの定義	事業計画書を作成するプロジェクトをいう。なお、ビジネスプラン型については、自分で実施するプラン（起業・新規事業）の場合と、他社への提案（事業案、コンサルティング案）の両方を可能とする。	事業計画書を作成しないプロジェクトをいう。ビジネス上解くべき課題を設定し、それについて調査研究、理論研究又は手法開発等を行うプロジェクトをいう。
学生によるプロジェクトタイプの選択	プロジェクトタイプは、原則として第 2 回中間発表会の後に確定させるものとし、学生が「プロジェクトタイプ申請書」に記載して届ける。 プロジェクトタイプは、プロジェクト報告書の所定欄に明記するものとする。	
評価の観点	第 1 回 中間発表会	主として「革新性」の観点で評価する。
	第 2 回 中間発表会	「革新性」を前提として、主として「実現性・論理性」の観点で評価する。
	最終審査会	「革新性」「実現性・論理性」「発展性」の 3 つの観点で評価する。
副主査の選定と役割	副主査の発表時期は、報告書提出直後とする。 副主査の役割は、プロジェクト報告書の審査とする。	
優秀プロジェクト発表会へ進出するプロジェクトの選定	優秀プロジェクト発表会へ進出するプロジェクトは、全体で 10 程度のプロジェクトを選ぶが、選定数はビジネスプラン型と特定ビジネス課題解決型を選択したプロジェクト数の比率を基本とする。但し、評価によっては全体で 10 程度のプロジェクトになるように 2 つのタイプから選ぶプロジェクト数を調整することがある。	
最終成績評価	通常科目で用いる成績評価基準に準ずる。	

詳細は、入学時に「プロジェクト報告書ガイドライン」で提示する。

以上